

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公開番号】特開2020-19813(P2020-19813A)

【公開日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-005

【出願番号】特願2019-186857(P2019-186857)

【国際特許分類】

A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2015.01)
A 6 1 K	35/761	(2015.01)
A 6 1 K	35/763	(2015.01)
A 6 1 K	47/55	(2017.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2017.01)
A 6 1 K	47/30	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	9/51	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/16	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	15/12	(2006.01)
C 1 2 N	15/62	(2006.01)
C 1 2 N	15/86	(2006.01)

## 【 F I 】

A 6 1 K	48/00	Z N A
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	35/761	
A 6 1 K	35/763	
A 6 1 K	47/55	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 K	47/30	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	9/51	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 K	38/16	
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	14/47	
C 1 2 N	15/12	
C 1 2 N	15/62	Z
C 1 2 N	15/86	Z

## 【手続補正書】

【提出日】令和2年2月4日(2020.2.4)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

被験体において補体関連状態を処置するための医薬組成物であつて、前記医薬組成物が、C D 5 5 タンパク質およびC D 5 9 タンパク質由来のアミノ酸配列を含む組換えキメラタンパク質を含み、前記C D 5 9 タンパク質由来のアミノ酸配列が、前記C D 5 5 タンパク質のアミノ酸配列に対してC末端側にあり、前記組換えキメラタンパク質が、古典的補体経路および第二補体経路を負にモジュレートする、医薬組成物。

**【請求項 2】**

前記C D 5 9 タンパク質由来のアミノ酸配列が、成熟C D 5 9 タンパク質のアミノ酸1～76からなる、請求項1に記載の組成物。

**【請求項 3】**

前記組換えキメラタンパク質が、配列番号4に記載されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の組成物。

**【請求項 4】**

前記組換えキメラタンパク質が、C D 4 6 タンパク質由来のアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の組成物。

**【請求項 5】**

前記組換えキメラタンパク質が、配列番号2に記載されるアミノ酸配列を含む、請求項4に記載の組成物。

**【請求項 6】**

前記タンパク質が、前記C D 4 6 タンパク質および前記C D 5 5 タンパク質；ならびに前記C D 5 5 タンパク質および前記C D 5 9 タンパク質のアミノ酸配列の少なくとも1つを接続するリンカーをさらに含む、請求項4に記載の組成物。

**【請求項 7】**

前記組換えキメラタンパク質がヒトC D 5 9 由来の分泌シグナルを含む、請求項1～6のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 8】**

細胞または組織を標的化するように作出された送達ビヒクルをさらに含み、前記送達ビヒクルが、リポソーム、脂質、ポリカチオン、ペプチド、ナノ粒子、金粒子およびポリマーの群より選択される、請求項1～7のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 9】**

薬学的に許容される塩または軟化薬の少なくとも1つをさらに含む、請求項1～8のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 10】**

前記補体関連状態が、黄斑変性、加齢黄斑変性、炎症性腸疾患、甲状腺炎、クリオグロブリン血症、胎児消失、臓器グラフト拒絶、敗血症、ウイルス感染症、真菌感染症、細菌感染症、トキシックショック症候群(T S S)、膜性増殖性糸球体腎炎、デンスデポジット病、発作性夜間ヘモグロビン尿症、ループス腎炎、膜性腎炎、免疫グロブリンA腎症、グッドパスチャーリー症候群、連鎖球菌感染後糸球体腎炎、全身性エリテマトーデス、非典型溶血性尿毒症症候群、全身性エリテマトーデス、ループス関節炎、関節リウマチ、シェーグレン症候群、ベーチェット症候群、全身性硬化症、アルツハイマー病、多発性硬化症、重症筋無力症、ギラン・バレー症候群、大脳ループス、脳卒中、成人呼吸促迫症候群、慢性閉塞性肺疾患、囊胞性線維症、溶血性貧血、発作性寒冷ヘモグロビン尿症、発作性夜間ヘモグロビン尿症、血管炎、天疱瘡、水疱性類天疱瘡、光毒性反応、乾癬、アナフィラキシーショック、アレルギー、喘息、心筋梗塞、糖尿病性網膜症、微小脈管障害、皮膚筋炎、B細胞リンパ増殖性障害、脱髓疾患、急性腎臓傷害、C O P D、R h 疾患、免疫性溶血性貧血、免疫性血小板減少性紫斑病、補体関連糸球体症またはアテローム動脈硬化症である、請求項1～9のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 11】**

前記補体関連状態が、黄斑変性、加齢黄斑変性、または糖尿病性網膜症である、請求項  
10に記載の組成物。